

公益社団法人民間総合調停センター 御中

和解あっせん・仲裁申立書

申立年月日：平成 年 月 日

|     |   |
|-----|---|
| 申立人 | 住所 〒***-****<br>大阪府大阪市〇丁目〇番〇号<br><br>(電話 **-****-**** )<br>(会社名・代表者名)<br><b>大阪 太郎</b> 印<br><br>(生年月日) 昭和**年**月**日 (**歳) |
| 申立人 | 住所 〒<br><br>(電話 )<br>(会社名・代表者名)<br><br>印<br><br>(生年月日) 年 月 日 ( 歳)   |
| 代理人 | 住所 〒<br><br>(電話 )<br><br>代理人 印  |
| 相手方 | 住所 〒***-****<br>大阪府大阪市〇丁目〇番〇号<br><br>(電話 **-****-**** )<br>(会社名・代表者名)<br><b>総合 二郎</b> 印<br><br>(生年月日) 昭和**年**月**日 (**歳) |
| 相手方 | 住所 〒<br><br>(電話 )<br>(会社名・代表者名)<br><br>印<br><br>(生年月日) 年 月 日 ( 歳)   |

※ボールペンまたは万年筆で記入して下さい。

※本申立書は相手方に送付します。

|   |
|---|
| <b>第1. 申立の趣旨</b> （相手方に求める結論を記載して下さい。）                         |
| 相手方は、申立人が1000万円を支払うことと引き換えに、別紙物件目録記載                          |
| 1の土地及び同目録記載2の建物に設定された抵当権の抹消登記手続をする                            |
| との 和解あっせん・仲裁判断（どちらかを○で囲んでください）<br>を貴センター規則に基づいて求める。           |
| <b>第2. 申立の理由</b> （紛争の概要と申立を根拠づける理由を記載して下さい。）                  |
| 1 申立人は、弟であるAが相手方から2000万円を借り入れるに際し、別紙物件                        |
| 目録記載1の土地（以下「本件土地」という）及び同目録記載2の建物（以下「本                         |
| 件建物」という）に抵当権を設定した。  |
| 2 その後、Aは相手方に対する返済を続け、現在の残元金は1500万円となって                        |
| いる。   |
| 3 申立人は、本件建物の老朽化により多大な補修費用がかかることから、同建物を                        |
| 取り壊した上で本件土地を売却したいと考えている。申立人が本件土地及び建物                          |
| の簡易な査定を行ったところ、本件建物は無価値であり、本件建物の更地価格は                          |
| 950万円との結果であった。  |
| 4 申立人が本件土地及び建物の購入希望者を募ったところ、Bから1050万円で                        |
| 購入したいとの申し出があった。申立人は、適正な価格での売買であると考え、相                         |
| 手形に対し、諸費用を差し引いた1000万円の弁済と引き換えでの抵当権抹消を                         |
| 求めたが、相手方は「弁護士さんを通して話をしてください」などと述べ、協議                          |
| に応じようとしなない。   |
| 5 そこで、申立人は、相手方との間で抵当権抹消について十分な協議を行うため、                        |
| 本申立てをする。  |
| <b>第3. 和解あっせん人・仲裁人として選任を希望する者の氏名等</b> （希望する場合のみ、3名以内でご記入ください） |
| ・氏名（ ） 資格・所属団体等（ <b>弁護士・大阪弁護士会</b> ）                          |
| ・氏名（ ） 資格・所属団体等（ ）  |
| ・氏名（ ） 資格・所属団体等（ ）  |

※ボールペンまたは万年筆で記入して下さい。

※本申立書は相手方に送付します。